

物価高騰で業者の要望を聞き取り調査

尾村県議、松江市議団

コロナ危機に加え、石油価格や食料品など物価高騰が暮らしと中小業者の営業に深刻な打撃を与えている問題で、日本共産党の尾村利成島根県議と舟木健治、橘ふみ両松江市長、岩田剛東部地区委員長は9日、松江民主商工会の事務局長とともに市内業者を訪ね、食料品製造、金属加工、塗装、建具、金属製品製造などの業者から実態を聴取しました。

業務用冷蔵庫の部品などを加工しているステンレス業者は、昨年末から原材料が4回も値上げされ、さらに来月からも値上げとなり、単価が1.5倍(1*当たり700円←1000円)になったと述べ、

「受注契約で冷蔵庫の本体価格が決められており、値上げ分は価格転嫁できない」と苦しい胸の内を語りました。塗装業者からは「メーカーから塗料、シンナー製品を15%~40%値上げする文書が届いた。来年からコロナ融資の借り入れ返済も始まり、不安でいっぱい」との声が出され、食料品製造業者からは「せめて食料品は非課税にし



食料品製造業者(中央)から要望を聞く(左へ)尾村、舟木、たちばなの各氏

インボイス中止で地域の多様な仕事を守ろう

令和5年10月からインボイス制度が実施されます。インボイス(適格請求書)とは、請求書に適用税率や税額、税務署に登録した登録番号などを記入した請求書です。

事業者が消費税の納税額を計算する時、売上に係る消費税額から、仕入に係る消費税額を差し引きます。これを「仕入税額控除」と言います。制度実施後、仕入税額控除を受けるには、インボイス登録をした業者の請求書しか認められません。



仕入税額控除ができないと、税務署に収める消費税は増えます。よって、課税業者は、登録をしている業者としか取引をしなくなる可能性があります。登録をしないと免税点以下の売上であっても消費税納税義務が発生します。県内で個人の課税業者は約6千人、免税業者は約1万4千人。さらに小規模法人やシルバークンセンターの会員、保険外交員、フリーランスなど、多くの免税業者がこの問題で、廃業の危機に直面しています。インボイスは、大企業にも小規模業者にもメリットはありません。多様で特色ある仕事で地域を形成し、生活を豊かにしています。日本共産党はインボイス中止、消費税減税を政策に掲げています。参院選の勝利で多様な事業者を守りましょう。

東出雲複合施設について申入れ

党東出雲支部

4月25日、日本共産党東出雲支部(原健二支部長)は、7月着工予定の東出雲複合施設に関連して寄せられた要望を市に申し入れました。



渡部寛子社会教育課長に申し入れる原健二支部長

要望内容は、①市の見解は、回覧ではなく全戸配布を
②大型店開店に伴う市道対策
③支所跡地の売却に対する市の見解
④保健相談センターは防衛省補助のため、間取りに制約のあることの周知
⑤旧意東公民館は、防衛省の「地域住民も使えるように」との要請に答え、住民がスムーズに使えるよう教育委員会として支援を
⑥旧出雲郷公民館内「子育て支援センター」が複合施設完成後に移転した後は、その部屋を出雲郷地区住民が使えるようにの6項目。応対した渡部寛子生涯学習課長は「市の見解は住民に報告する。周知方法は工夫する」、入口付近の市道対策は「広げる」、支所の跡地売却は「当初の方針である。公園移転後に宅地売却を具体化する」と回答しました。

地域住民から「出雲郷ふれあい広場にトイレがなくなり、グラウンドゴルフができなくなつた」「旧意東公民館は、非常階段から入らねばならず危険」など声が寄せられています。党支部は「コミュニケーションを取り戻し元気に暮らせるよう、引き続き市に働きかける」としています。吉儀敬子前市長、舟木健治、たちばなふみ両市議が同席しました。



八束支部長とポスターを貼るたちばな市議

自由と平和。まっすぐ、つらぬく。ポスター張り出し場所のご協力を

「自由と平和。まっすぐ、つらぬく。党をつくって100年」夏の参院選挙に向けて日本共産党押し出しポスターが発表されました。いま全国でこのポスターの張り出しをしています。支持者の皆さんや「しんぶん赤旗」の読者のみなさんへ、ポスターの掲示場所のご協力をお願いします。地区委員会や、もよりの党員までご連絡ください。